

第 22 回 名古屋市アジア・アジアパラ競技大会推進本部会議

次 第

日 時：令和 6 年 10 月 15 日（火） 9:30～
場 所：本庁舎 2 階 特別会議室

○ 開会

○ 議題

- 1 アジア・アジアパラ競技大会の現状について【資料 1】
- 2 推進本部体制の見直しについて【資料 2】

○ 報告事項

- ・アジア競技大会・アジアパラ競技大会において使用する本市スポーツ施設及び使用期間について 【資料 3】
- ・文化プログラムについて 【資料 4】
- ・大会ボランティアについて【資料 5】
- ・令和 7 年度予算に係るアジア・アジアパラ競技大会関連事業費の照会について 【資料 6】
- ・アジア競技大会・アジアパラ競技大会の公式マスコットについて 【資料 7】

アジア・アジアパラ競技大会の現状

○ アジア・アジアパラ競技大会の大会価値

1 トップアスリートの競技を名古屋で、間近に、市民が参加

- ・無観客で開催された東京オリ・パラとは異なり、アジア41競技、パラ18競技のトップアスリートの競技を生で間近に見ることができるため、スポーツに取り組む子ども達の目標になる。
- ・アジア・アジアパラ競技大会の盛り上がりにより、スポーツ全体が盛り上がる。
- ・ボランティアへの参加、文化プログラム、各種イベントへの参加など、市民も一体となって活動する機会となる。
- ・パラアスリートの活躍を身近に見ることで、障害者理解の促進、多様性を尊重する共生社会の実現に寄与する。

2 国内外の選手・関係者・観客が多数来名

- ・アジアの恒久平和、アジアをスポーツで一つにという願いがこもった大会のもとに多数の各国要人が来名することにより、名古屋のシティプロモーション、アジアとの共生が進む。
- ・名古屋を知ってもらい、名古屋を楽しんでもらうことにより、観光需要の増加や、インバウンド需要の取り込みにつながる。
- ・市民の国際理解や国際感覚の上昇が期待される。

3 本市職員の対応能力の向上

- ・オリンピック・パラリンピックと肩を並べる、市が経験したことがない、国際総合スポーツ大会の準備・運営をやり遂げることで、本市職員の大規模・国際イベント等への対応能力が向上し、本市として今後実施できる施策の幅が広がる。

4 国内外に対して名古屋の実力の証明

- ・名古屋市は「アジア・アジアパラ競技大会をやり遂げた」という実績ができることによって、知名度と国内外での信用が上がる。

○ アジア・アジアパラ競技大会のレガシー

【2026 アジア競技大会 NAGOYA ビジョン】

- ・まちの姿1 健康・地域活力
- ・まちの姿2 魅力・誇り
- ・まちの姿3 国際交流・多様性
- ・まちの姿4 イノベーション・持続可能性

○ 推進本部体制の見直しについて

1 見直しの方針について

大会開催時を見据え、より実効性のある推進本部体制へ再編成するもの。

2 新旧対照について

【現在の推進本部体制】

名古屋市アジア・アジアパラ競技大会推進本部 【本部長】市長 【副本部長】副市長 【構成局】全局（幹部会出席局区室）				
総括 ※ アジア/アジアパラ	魅力発信	競技会場	まちづくり	レガシー
◎総務 ◎スポ市 ◇健福 財政 観文 住都 教育	◎スポ市 ◇観文 市長 総務 経済 健福	◎スポ市 ◇総務◇緑土 経済 観文 健福 交通	◎住都 ◇緑土 総務 財政 スポ市 環境 健福 上下水	全局 ◎総務 ◇スポ市 ◇観文 ◇健福 ◇住都 ◇教育

【今後の推進本部会議体制（案）】

名古屋市アジア・アジアパラ競技大会推進本部 【本部長】市長 【副本部長】副市長 【構成局】全局区室					
総括・レガシー 調整会議	都市運営調整会議			広報・おもてなし・魅力 発信調整会議	
		競技会場	輸送		聖火リレー
全局区室 ◎総務 ◇財政 ◇スポ市 ◇健福	◎総務 ◇防災 財政 スポ市 経済 観文 環境 健福 住都 緑土 教育 消防 上下水 交通 瑞穂 港	◎スポ市 ◇総務 財政 経済 観文 健福 緑土	◎総務 ◇防災 健福 住都 緑土 交通	◎スポ市 ◇総務 ◇観文 防災 市長 経済 環境 健福 住都 緑土 教育 消防 交通 全区	◎総務 ◇スポ市 防災 観文 環境 緑土 消防 交通 全区

3 各会議体の所管事項について

会議名称	所管事項
推進本部会議	・名古屋市としての意思決定
総括・レガシー調整会議	・全局区室に係る事項の検討・調整 ・レガシーに係る検討・調整
都市運営調整会議	・大会時の都市運営に係る検討・調整
競技会場調整部会	・競技会場の改修に係る検討・調整 ・競技会場の使用期間に係る検討・調整 ・競技会場の使用料に係る検討・調整
輸送調整部会	・観客輸送に係る検討・調整
広報・おもてなし・魅力発信調整会議	・大会に係る広報に係る検討・調整 ・大会をきっかけとする来名者へのおもてなしの検討・調整 ・名古屋の魅力発信にかかる検討・調整 ・シティドレッシングにかかる検討・調整 ・市民と選手・アジア各国との交流検討・調整
聖火リレー調整部会	・聖火リレーの実施の検討・調整

アジア競技大会・アジアパラ競技大会において使用する 本市スポーツ施設及び使用期間について

1 概要

同大会においては、競技会場のほか、練習会場等としても施設の使用が必要となる。また、使用に当たっては、大会期間中のほか、準備・撤去のための期間も必要となります。現状の愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会（以下「組織委員会」）との調整状況を報告するもの。

2 競技会場

(1) 対象となる本市スポーツ施設

組織委員会において競技会場を仮決定済みであり、AF（アジア競技連盟）、IF（国際競技連盟）、OCA（アジア・オリンピック評議会）、APC（アジアパラリンピック委員会）と承認に向けて協議中。

(2) 使用期間

大会期間中のほか、大会運営のための仮設物整備の期間（概ね3～4か月程度）、撤去の期間（概ね1か月程度）について、組織委員会にて精査中。

<競技会場として使用する本市スポーツ施設及び使用期間>※

所在区	施設名	使用期間（2026年度（令和8年度））									
		5月	6	7	8	9	10	11	12		
昭和区	テラスポ鶴舞										
瑞穂区	瑞穂運動場					大 会 期 間					
	ラグビー場（練習場含む） 体育館（テニスコート含む）										
港区	港サッカー場										
	金城ふ頭アリーナ 稲永スポーツセンター										
南区	レインボーホール レインボープール										
	東山公園テニスセンター										

3 練習会場及び競技の諸室として使用する施設

(1) 対象となる本市スポーツ施設

組織委員会において国内中央競技団体の意見を参考に候補施設を選出し、AF、IF、OCA、APCと協議中。

(2) 使用期間

大会期間中のほか、大会運営のための準備期間（概ね3週間程度）、撤去の期間（概ね1週間程度）について、組織委員会にて精査中。

<練習会場（候補）等として使用する本市スポーツ施設及び使用期間>※

所在区	施設名	5月	6	7	8	9	10	11	12
中村区	中村スポーツセンター								
熱田区	名古屋市体育館					大 会 期 間			
中川区	露橋スポーツセンター								
港区	南陽プール								
守山区	守山スポーツセンター								
緑区	緑スポーツセンター								
名東区	名東スポーツセンター								

4 今後について

市民の皆様には令和7年4月頃の広報なごやでお知らせできるよう精査を進めていますが、市内の競技団体等へは、令和6年10月中旬以降に、現在の検討状況をお知らせする。

※ 使用するスポーツ施設及び使用期間について

- 施設全体を借上げますが、テラスポ鶴舞ウエストやスポーツセンターのトレーニング室など、準備期間や撤去期間において、可能な限り施設利用ができるよう検討中です。
- 着色部以外で施設利用に影響のない程度で、先行工事に入る場合があります。
- 状況により、別途復旧のための工事が別途必要となる場合があります。
- 組織委員会の検討状況により変更が生じる場合は改めてお知らせします。

【2026年度（令和8年度）の施設利用に関する重要なお知らせ】

※各競技団体等には、次年度の市立体育館の利用調整のご案内等の機会にこちらの資料でお知らせさせていただきます。

2024年10月11日

各位

名古屋市総務局

アジア・アジアパラ競技大会推進課長

アジア・アジアパラ競技大会における市スポーツ施設の借上期間について

日頃はアジア・アジアパラ競技大会の推進にご協力いただきありがとうございます。

2026年9月から開催される同大会では、様々な市スポーツ施設が競技会場や練習会場候補とされております。施設については、（公財）愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会が、大会期間だけでなく、大会運営のための仮設物整備や撤去・復旧等に必要な期間を使用させていただく予定です。（下記は現在想定している期間となります。）

いつも施設をご利用いただいているところ、ご不便をおかけしますが、ご理解いただければと思います。また、市内・県内のスポーツ施設については、裏面をご参照いただければと思います。なお、詳細な使用期間については、2025年4月頃の広報なごやをはじめ、適宜お知らせさせていただく予定です。

1. 競技会場

所在区	施設名	使用期間（2026年度（令和8年度））									
		5月	6	7	8	9	10	11	12		
昭和区	テラスポ鶴舞										
瑞穂区	瑞穂運動場										
	ラグビー場（練習場含む）										
	体育館（テニスコート含む）										
港区	港サッカー場										
	金城ふ頭アリーナ										
	稲永スポーツセンター										
南区	レインボーホール										
	レインボープール										
天白区	東山公園テニスセンター										

大会期間

2. 練習会場（候補）及び競技の諸室として使用する施設

所在区	施設名	5月	6	7	8	9	10	11	12
中村区	中村スポーツセンター								
熱田区	名古屋市体育館								
中川区	露橋スポーツセンター								
港区	南陽プール								
守山区	守山スポーツセンター								
緑区	緑スポーツセンター								
名東区	名東スポーツセンター								

大会期間

※1 施設全体を借上げますが、テラスポ鶴舞ウェストやスポーツセンターのトレーニング室など、準備期間や撤去期間において、可能な限り施設利用ができるよう検討中です。

※2 着色部以外で施設利用に影響のない程度で、先行工事に入る場合があります。

※3 上記以外で状況により、別途復旧のための工事が必要となる場合があります。

※4 組織委員会の検討状況により変更が生じる場合は改めてお知らせします。

所 属：名古屋市アジア・アジアパラ競技大会推進課
担 当：倉知、梅林、西端
連絡先：052-972-2243

名古屋市スポーツ施設一覧 (令和6年10月1日現在)



名古屋市の施設

名古屋市の施設の詳細・予約等は、名古屋市スポーツ・レクリエーション情報システムをご覧ください。

<https://www.net.city.nagoya.jp/sporec/index.html>



愛知県内の施設

上記一覧にない、愛知県内施設の詳細・予約・お問い合わせ先等は、aispo!Do!をご覧ください。

<https://aispo-do.jp/>



愛知・名古屋 2026 大会 文化プログラムについて

1 趣旨等

- アジア・アジアパラ競技大会における文化プログラムの実施に向けて、計画を作成

- ・開催都市契約に基づき、文化プログラムの計画をOCAへ提出

開催都市契約 5.1 文化プログラム

- ・競技大会の2年前までに、組織委員会は、計画された文化的イベントのプログラム（建築、絵画、彫刻及び音楽の展示又はパフォーマンスを含む。）をOCA理事会の承認を受けるために提出するものとする。

2 文化プログラムの計画（概要）

(1) 趣旨等

- 日本、愛知・名古屋の歴史、文化芸術等の魅力を紹介・発信するとともに、大会関係者や県民・市民が交流する機会となる文化プログラムを実施する。

(2) 基本コンセプト

- 大会コンセプト、スローガン等を踏まえて実施する。

大会スローガン

- ・アジア競技大会「IMAGINE ONE ASIA ここで、ひとつに。」
- ・アジアパラ競技大会「IMAGINE ONE HEART ところを、ひとつに。」

(3) 基本的な枠組み

- ・開催都市が行う「主催事業」に加えて、多様な団体が行う取組を組織委員会が認証する「認証事業」を実施

(4) 実施内容

① 主催事業

実施主体	・開催都市（愛知県・名古屋市） ・競技会場所在自治体、県内自治体の参画可（費用は自己負担）
期 間	・文化の魅力発信や大会の機運醸成に効果的な時期
場 所	・主に大会関係施設（競技会場、メインメディアセンター、宿泊施設等）
内 容	・展示：魅力紹介（歴史、文化芸術、自然、工芸品・食品、先端技術等） ・体験：文化芸術、競技（大会の実施競技等） ・その他：交流イベント等

② 認証事業

- ・認証を受けた事業主体には、その取組が大会の文化プログラムであることを示す認証マークの使用が認められる。

実施主体 (対象者)	・開催都市（愛知県・名古屋市）、国、県内自治体、競技会場所在自治体 ・放送権者、大会スポンサー※ ・J S P O / J P S A、J O C / J P C、国内競技団体 ・県内または競技会場所在自治体内の学校、大学連携協定締結大学 ・その他の非営利団体等で組織委員会が認める団体 ※大会スポンサー以外の民間企業は対象外
期 間	・2025年9月19日～2026年12月31日 (認証の対象となる事業の実施期間)
場 所	・国内各地 (競技会場周辺、公共施設、イベントスペース、観光スポット等)
内 容	・多様な団体が行う事業・取組を幅広く文化プログラムとして認証 ・文化的要素が組み込まれていることを要件とする。 (多くの団体の参画を得て、機運醸成にもつなげていく。)

3 スケジュール等

2024年	【認証事業】 ・認証事業の募集開始：2024/9/19～  ・組織委員会が認証を希望する事業を募集し、内容を確認した上で、大会の「文化プログラム」として認証
2025年	【認証事業】 ・認証事業の実施期間：2025/9/19～2026/12/31 ・事業実施団体は、事業実施の際に認証マーク等を掲示し、認証事業であることを発信
2026年	【主催事業・認証事業】 ・主催事業の実施：主に大会期間中 ・認証事業の実施：2025/9/19～2026/12/31

「愛知・名古屋 2026 大会」ボランティアの募集要項策定について

愛知・名古屋 2026 大会におけるボランティアは、大会運営の現場を支える存在であるとともに、その活躍が「大会の顔」として大会全体のイメージを作り上げる非常に重要な役割を担います。

この度、組織委員会及びアジア・アジアパラ競技大会愛知・名古屋合同準備会では、愛知・名古屋 2026 大会ボランティア募集要項策定しましたのでお知らせするとともに、下記に募集要項の概要をお示しいたします。

記

1 募集概要

活動区分	大会ボランティア	都市ボランティア
活動場所	競技会場、メインメディアセンター、宿泊施設などの大会関連施設	主要駅、競技会場の最寄り駅周辺のラストマイルなど
活動期間	大会期間中及び大会期間前後において、10日以上を目安（連続での活動は最大5日）	大会期間中及び大会期間前後において、5日以上を目安（連続での活動は最大5日）
活動時間	1日当たり最長で8時間程度（休憩時間を除く）	1日当たり最長で8時間程度（休憩時間を除く）
活動内容	競技運営のサポートや競技会場内の観客案内など	観光・交通案内、最寄り駅における観客の誘導など
運営主体	組織委員会	合同準備会

2 募集人数

活動区分	大会ボランティア	都市ボランティア
募集人数	約 36,000 人	約 4,000 人

3 応募要件等

(1) 応募要件

- ・2026年4月1日時点で、満18歳以上の方（応募時に満18歳に達していない場合は、応募に当たり保護者の方の承諾が必要）
- ・日本語によるコミュニケーション（日常会話・読み書き）が可能であること
- ・国籍不問。ただし、国内法令を遵守しており、外国籍の方の場合は在留資格を有すること ほか

(2) 応募期間

2024年10月21日（月）～2025年1月31日（金）

(3) 応募方法

ボランティア募集特設サイト内の応募フォームより応募

(4) 応募単位

個人応募の他、グループ応募可

4 ボランティア募集特設サイト

URL : <https://www.volunteer-aichi-nagoya2026.com>

二次元コード：

5 問い合わせ対応

特設サイトのお問い合わせフォームの他、コールセンターを開設。

【愛知・名古屋 2026 大会ボランティア コールセンター】

電話番号	050-1808-0542
メールアドレス	contact@volunteer-aichi-nagoya2026.com
受付時間	平日午前9時～午後5時30分 ※土日祝、年末年始（12/28～1/5）は休業

6 今後のスケジュール（予定）

日程	内容
2024年10月21日～2025年1月31日	募集期間
2025年2月頃	（応募者多数の場合は、抽選を実施） 採用イベントの案内を通知
2025年2月～5月頃	採用イベントの開催
2025年7月～2026年9月頃	各種ボランティア研修の実施 ユニフォーム等の提品を配布
2026年9月～10月	ボランティア活動の実施

令和 6 年 10 月 日

各局室企画経理担当課長 様

総務局アジアパラ競技大会推進課担当課長
(アジア・アジアパラ競技大会に係る企画調整)

アジア・アジアパラ競技大会関連事業費の照会について (依頼)

平素は、第20回アジア競技大会及び第5回アジアパラ競技大会（以下、「アジア・アジアパラ競技大会」という。）の推進について、ご理解とご協力いただき誠にありがとうございます。

さて、令和6年6月13日付照会「アジア・アジアパラ競技大会に関する依頼事項について」（以下「照会①」という）の「依頼事項ウ」において、総合計画とNAGOYAビジョンの関連について、ご確認をしていただきましたが、関連事業の令和7年度予算要求における現時点での予定額を集計したいと考えております。

つきましては、下記のとおりご回答・ご確認いただきますようお願いいたします。

記

1 依頼内容

(1) 令和7年度予算予定額

通常枠において令和7年度予算に計上予定の事項及び令和7年度臨時・政策経費要求において要求中の事項のうち、「(参考) NAGOYAビジョン関連事業の分類」を参考に、(イ)に該当する事業について別添エクセル「回答様式」にてご回答ください。

照会①の「依頼事項ウ」において、総合計画の事業ごとに分類いただいておりますが、分類上(イ)に該当する事業の要求事項については、全てご回答いただくとともに、分類上(ウ)やアジア・アジアパラ競技大会とは関連しないと整理された事業に係る要求事項でも、令和7年度においてアジア・アジアパラ競技大会と密接に関連すると整理される事項があれば、当該事項についてご回答をお願いいたします。

(2) 令和6年度予算額

令和6年1月11日付照会「令和6年度予算に係るアジア・アジアパラ競技大会関連事業費の照会について(依頼)」（以下「照会②」という）及び照会①「依頼事項ア」にてご回答いただいた事業について「回答様式」に記載しておりますので、内容のご確認をお願いします。また、「回答様式」に記載されている事項以外で、(1)と同様の整理で漏れている事業がございましたら、追加をお願いします。

なお、一部事業（エクセルの網掛け部分）について、特定財源の内訳や種類を把握

できていない事業がございますので、こちらについては別途ご回答をお願いいたします。

2 回答方法

別添エクセル「回答様式」に必要事項を記入いただき、アジア・アジアパラ競技大会推進課宛てにメールにてご回答をお願いします。詳細な回答方法につきましては、回答例をご参照ください。

3 回答期限

令和6年11月8日（金）

4 その他

該当がない場合についても、その旨を回答ください。

また、予算が確定するタイミング（令和7年1月頃を想定）で予算委員会の準備のため、本件照会にてご回答いただいた数字の更新を依頼する予定です。

（参考）NAGOYAビジョン関連事業の分類

区分	分類	事業例
(ア)	大会運営や会場の仮設整備など、大会開催に伴い発生する直接的な事業	組織委員会による大会準備・運営（会場の仮設整備等）
(イ)	大会を契機として、新たに発生したもの、事業進捗が進んだもの、大会後もレガシーとして残るものなど大会に密接に関わる事業	会場改修、選手村後利用、輸送、バリアフリー等に関する事業 例：競技会場の改修及びアクセスルートのバリアフリー など
(ウ)	大会開催の有無に関わらず、本来の行政目的のために行われるが、大会にも資する事業	NAGOYAビジョン関連事業のうち上記ア・イ以外の事業

担当：アジア・アジアパラ競技大会推進課
酒井、鈴木（内線：4616）
E-mail：a2243@somu.city.nagoya.lg.jp

アジア・アジアパラ競技大会関連予算（回答例）

（単位：千円）

所管	事項名	事項の内容	総合計画 事業番号	総合計画事業	R6予算額	特定財源			一般財源	R6備考	R7要求額	特定財源			一般財源	R7要求区分	R7備考
						国・県支出金	地方債	その他				国・県支出金	地方債	その他			
総務局	〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇、R6年度は実施設計、R7年度は改修工事を行う。	479	アジア・アジアパラ競技大会会場施設の整備	1,000,000	100,000	750,000	50,000	100,000	〇補助金（国）：50,000千円 △△補助金（県）：50,000千円 〇基金取崩	1,000,000	100,000	750,000	50,000	100,000	臨政費	〇補助金（国） 〇基金取崩：30,000千円 △△基金取崩：20,000千円
総務局				N/A					0						0		
総務局		R6年度からの引き継ぎの事業で、R7年度の実施内容が異なる場合は年度ごとの内容が分かるようご記載ください。		該当する事業に番号を入力してください。臨政費以外の事項についても該当するものがあれば入力してください。					0						0		
総務局				N/A					0						0		
総務局				N/A					0						0		
総務局				N/A					0						0		

特定財源を充当する場合、財源の名称（補助金や基金の名称）を備考欄にご記載ください。地方債の場合は地方債の種類等の記載は不要です。

アジア競技大会 公式マスコットについて

〔名前〕

ホノホン / HONOHON



〔名前の由来〕

アスリートの心に宿る熱い炎から誕生したキャラクター。「炎」の語源である「火の穂」（ほのほ）から、親しみやすさも込めて「ホノホン／HONOHON」と名付けた。

アジアパラ競技大会 公式マスコットについて

〔名前〕

ウズミン / UZUMIN



〔名前の由来〕

- ・「水」から発想を広げて「渦（うず）」と「泉（いずみ）」という言葉に基づいています。
- ・パラアスリートたちの熱い想いが「渦」となって愛知・名古屋に集まり、そこで生まれた感動が「泉」のように湧き上がって、アジア中に広がっていく大会となってほしいという願いを込めています。